

喜寿を迎えて

健康とTry is best.
がモット

小助川 静男 (昭和30年電気科卒)

私は、当時全盛であった5球スーパー・ラジオ、と電蓄を組み立てるラジオ少年でした。母校の文化祭では、同級生で5球スパ10台を組み立てて販売しました。あっという間に完売しました。

昭和30年と言いますと南北朝鮮戦が停戦した年で、就職難でした。卒業までに就職先が決まったのは、10名に満たない状況でした。私の就職希望は、放送局が通信関係で、警察無線を受験して失敗しました。これ以外に放送と通信関係からの求人は、全くありませんでした。卒業間近に市内から菱明社（現三菱電機出張所）で1名の募集があって、受験し入社する事ができました。この会社で4年経過の5月に母校の山田先生からNHKで中途採用者の募集があるが、と言われて悩みました。4年間慣れ親しんだ職場を変える訳ですから一大決心です。当時の心境は、今もって忘れられません。とにかく受験する事にしました。

試験は、剰余の定理の問題と三角関数の倍角の証明、一般常識、専門科目は電圧計、電流計の倍率器を求めるものでした。作文のテーマは、「日ごろ思うこと」でした。当時トランジスタが話題で、常々電解コンデンサが他の部品に比べて大きくトランジスタは小さく、これからポータブル・ラジオが発展するには、電解コンデンサの小型化が望まれると言うような事を書きました。

運良く合格して昭和34年6月1日付けでNHK秋田局技術部勤務を命じるという辞令を頂き、この日から秋田放送局に勤務。機器の設備をする事が好きで、東京の整備部の希望でしたが、大森山テレビ放送所、いわき放送局、東京内幸町の制作VTR、整備部、渋谷の放送センタ、旭川放送局、放送センタの映像技術部と異動して55才で定年を迎え、翌日からNHKの関連会社、NHKアイテックに転籍して64才で定年を迎えました。この直後に(財)NHKエンジニアリングサービスからの要請で第3の人生を歩み70才で退職しました。この間を振り返りますと海外出張には、北朝鮮、フランス、ブラジル、ハワイ、タイ、オランダ、イギリスの7カ国で、絶えず仕事に追われ、

健康とTry is best.をモットにして夢中で過ごしましたが、日々充実し、諸先輩、同僚、部下に恵まれた人生でありました。この場をお借りして感謝申し上げます。

前置きが長くなりました。喜寿を迎えて強調したい事は「寝たきりにならない」、「呆けない」と言う2大課題と向き合って生活して行かなければならぬ、と言う事です。それには、理にかなった筋肉の衰えの抑止しと呆けには、頭の体操が必要と思っています。私の体の状態を言いますと成人病はありませんし、服用している薬も皆無です。酒とタバコは、嗜みません。酒所で下戸とは、とよく言われました。加齢と共に筋肉は、適切な運動がなければ毎日に退化すると言われております。それで①1日6,000歩以上を目標に週3日間以上続ける。②高さ20cmの踏み台の上がり降りを10分間行う。③片足立ちを左右1分間行う(ロコモシンドロームにも関係)。④お腹を30秒間引っこます動作を5回行う(これは、腰痛用のコルセットと同様の効果があると言います)。①以外の3件を日課にしております。

頭の方は、アマチュア無線のモールス通信です。人生わずか50年と言われた時代に通信士とピアニストは、80才を超える長寿であったと言います。これにあやかっただけではありませんがモールス通信を楽しんでおります。モールス通信には、それなりの理があるような気がしております。一例を言いますとI hope to see you again.を実際の通信では、CU AGNの送信で、これは国際的にも通用します。遙か彼方と自然環境を媒介としての通信ですから何時、空中状態が変化するとも限りません。できる限り短時間で通信する事が要求されます。長い単語も頭部と中心と末尾を送信すると受信者は、その単語と全文の意味を即座に解釈します。この判断が頭の体操になり、また、解釈できた時の楽しみでもあります。その単語が解釈できない場合には、上述の例で言いますAGN?と送信しますとagainと返事を返します。つまり、伝送されてきた文字の末尾に?を付加して、返しますと全スペルを送信するのです。この一連の動作が通信の醍醐味にもなります。海外との交信で最後に「sayonara」と送信したら「say onara?」と言う返事が返ってきたと言う、笑い話もあります。更に、頭の体操には、この通信以外にオイラーの定理「 $e^{i\pi} = -1$ 」の証明を、1年を目標にTry is best.の精神で挑戦しております。喜寿の皆さん、お互いに健康に留意して傘寿、米寿と生き長らえて、急速に進歩発展をしている立体放送、4K、8Kのデジタル放送を楽しみましょう。喜寿の皆さんE-Mailを開設して下さい。

私のE-Mail : jg1fjq@river.ocn.ne.jpです。

E-Mailでは、写真も送れます。



総合建設コンサルタント
(一社)建設コンサルタンツ協会会員

富士コンサルタンツ株式会社

福島支店 支店長

野呂 昭光 (昭和37年土木科卒)

〒960-8071 福島県福島市東中央3丁目37番地1
TEL : 024(536)2042 FAX : 024(536)2080
E-mail : noro@fujicons.jp

◆ 業務内容

土木設計 : 道路・橋梁・河川・下水道・上水道・鉄道・公園
調 査 : 測量・地質・橋梁点検

本 社 〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉4-18-10
TEL : 028(635)2770(代) FAX : 028(633)3550
東京事業本部 〒140-0004 東京都品川区南品川6-12-13
TEL : 03(3474)0365(代) FAX : 03(3474)0402
仙 台 支 店 〒982-0013 宮城県仙台市太白区太子堂10-20
TEL : 022(395)6216 FAX : 022(395)6217
営 業 所 札幌・盛岡・北陸・福岡

